

平成 30 年度 第 4 回宮崎支部評議会の概要報告

開催日時	平成 30 年 12 月 12 日（水）10：00～12：00
開催場所	宮崎支部会議室
出席者	上山評議員、佐藤評議員、高橋評議員、谷口評議員、長鶴評議員、松浦評議員、安井評議員（五十音順）
議 題	<p>(1) 平成 30 年度上半期事業実施結果（状況）報告について</p> <p>(2) ジェネリック医薬品使用促進について</p> <p>(3) 第 94 回運営委員会の報告について</p> <p>(4) その他</p>
議 事 概 要（主な意見等）	<p>○任期満了に伴う評議員の改選および議長の選出について</p> <p>■事務局より報告、議長について異議なし</p> <p>(1) 平成 30 年度上半期事業実施結果（状況）報告について</p> <p>■資料に沿って事務局より説明</p> <p>■主な意見や質問など</p> <p>《企画総務グループ》</p> <p>（学識経験者）</p> <p>各自治体・関係団体との連携は重要なことであるが、スケジュールの関係など、調整も難しいと思われる。調整会議の参加率 79.8%と、KPI が高く設定されているが、前年度までの実施状況などはどうだったのか。</p> <p>（事務局）</p> <p>これまで、県や各関係機関との申し合わせにより、7 医療圏中 4 医療圏に参加してきたという経緯があります。全国の平均で 79.8%と定められており、宮崎支部に関しましては 7 医療圏中 6 医療圏に参加しないと達成できないという状況でございますが、KPI 達成のために努力してまいります。</p> <p>（事業主代表）</p> <p>ジェネリック医薬品に関する広報や、メールマガジン登録者数の拡大など、経済三団体と連携して取り組んでいく方法もあると思う。</p> <p>（事務局）</p> <p>健康宣言事業において、宣言事業所数の拡大に向け、経済三団体の会報誌等で広報を行っていただくよう依頼をしております。ご意見をいただきましたとおり、ジェネリック医薬品使用促進、メールマガジンおよび健康保険委員の登録者数につきましても、各団体に依頼をさせていただき、拡大を図っていきたいと考えておりますので、その際にはぜひお力添えをいただきたいと存じます。</p>

《保健グループ》

(学識経験者)

特定保健指導の実施率の向上について、具体的施策として、被扶養者の集合契約による実施のために利用券の発券を行う、とあるが、発券し受診をしてもらうということが目標で、それについてのKPIでよいか。

(事務局)

はい、747人というのが推測される発券人数で、そのうちの22人に受診していただきたい、というのが目標です。

《レセプトグループ》

(被保険者代表)

医療費のお知らせについて、確認を早くできるように、一年分ではなく、診療月から数か月で発送できないものか。

(事務局)

確定申告のために一年分まとめて載っているほうがいいのか、医療費を確認するために早く受け取るほうがいいのか、どちらが加入者の方にとっていいのか、ということになると思います。ご意見をいただいとおり、そもそもの目的は医療費についての意識を高めていただくということで、早くお送りすることがベストだと思いますが、現在は年一回という状況でございます。情報提供サービスをご利用いただければ、早いタイミングで医療費を確認していただくこともできます。

(事業主代表)

業務グループの話にもなると思うが、医療費等の適正化のため、県医師会の協力を得て説明会等を開催されているが、適正なレセプト請求に関して、県医師会と他にどのような取り組みをされているのか。

(事務局)

医療費に関して県医師会に依頼するという事は行っておりませんが、保険証の回収についてのポスターに、県医師会名をいれていただくなど、ご協力をいただいております。

《業務グループ》

(被保険者代表)

柔整に関して、多部位・頻回受診の件だが、他の保険者と情報を共有して対策を考えていくことが必要だと思う。

(事務局)

毎月一回、柔整審査会を実施しておりますが、国保連合会も同じ会場で実施しており、そこで情報共有を図っております。

(学識経験者)

努力をしてもなかなか成果がでない分野だとは思われるが、地道に取り組んでいただきたい。

(2) ジェネリック医薬品使用促進について

■資料に沿って事務局より説明。

■主な意見や質問など

(学識経験者)

使用割合について、宮崎支部は上位であるが、課題である若年層について、他支部で高いところはあるのか。

(事務局)

やはり使用割合が上位の沖縄支部、鹿児島支部、岩手支部については、0歳から4歳の部分も非常に高い状況です。

(学識経験者)

広報についてだが、効き目や安全性、安価であることはもちろん、若年層でも服用しやすいように製造工夫がされていることももっとPRしてもいいと思う。

(被保険者代表)

薬局で案内はしていただいているのか。

(事務局)

アンケートの結果、案内をされている薬局は多いです。しかし、乳幼児医療の助成等がありますと、加入者の方の負担がなかつたりするので、案内されても先発医薬品を選択されることが多いとのこと。服用しやすいことなども力をいれて案内をされているとのことですが、それに応じてくれるかどうか、という状況です。

(学識経験者)

測定方法が変更されるということだが、インセンティブ制度の評価指標にもなっているので、何か重点的に取り組んでいくといった考えはあるのか。

(事務局)

医療機関等への働きかけにつきまして、各関係機関と協力、連携して行っていきたいと考えております。

(3) 第94回運営委員会の報告について

■資料に沿って事務局より説明

特記事項

・傍聴：協会けんぽ宮崎支部職員1名 ・次回の評議会は平成31年1月に開催予定